

製品名: TUG マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80530**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ねずみ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 31kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TUG |
| 別名 | ASPCR1, ASPL, ASPs, RCC17, TUG, UBXD9, UBXN9 |
| 遺伝子 ID | 79058.0 |
| SwissProt ID | Q9BZE9 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現した TUG の精製された組み換え断片。 |

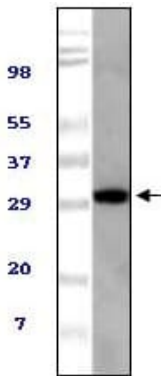
背景

TUG タンパク質は、GLUT4 を標的とする UBX ドメインを有する。短縮型 TUG は、チャイニーズハムスター卵巣細胞および 3T3-L1 脂肪細胞において、ドミナントネガティブな作用を示し、インスリン刺激による GLUT4 の再分布を阻害する。全長 TUG は GLUT4 と

特異的に複合体を形成する。3T3-L1 脂肪細胞において、この複合体は非刺激細胞中に存在し、インスリンによって大部分が分解される。内因性 TUG は、非刺激 3T3-L1 脂肪細胞において、インスリンによって動員可能な GLUT4 プールに局在し、インスリンによって細胞膜へ動員されない。

研究分野

画像データ



NIH/3T3 細胞溶解物に対する TUG マウス mAb を使用したウェスタン ブロット分析。